



尋常じゃない暑さが続くと、さすがにきついですね。日が落ちて夜になっても涼しくならないと、気持ちのメリハリもなくなってしまいます。汗をかく“動”と、涼む“静”のバランスをとりながら健康管理に努めていきたいですね。コロナ感染症も流行しています。手慣れた予防策で乗り切っていきましょう。8月は、9日（金）～16日（金）まで、児童、放デイ、訪問支援共に夏休みをいただきます。その他の日は、通常通りの支援となりますので、お間違いのないようにしてください。よろしくお願いいたします。今月も、コツコツ進めていきましょう。



### —8月・9月の予定—

8月 7日（水） OT（児童）  
 8月 9日（金）～16日（金） 夏休み（児童・放デイ共）  
 8月20日（火）～9月4日（水） 実習生（十文字大学）  
 8月21日（水）・26日（月） ST（児童）  
 9月 3日（火） OT（児童）  
 9月 4日（水）～18日（水） 実習生（武蔵野短期大学）  
 9月10日（火）・19日（木） ST（児童）  
 9月12日（木） ドクターNの医療相談（14:00～16:00）  
 9月18日（水） 地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）

### ＝お知らせ＝

#### 《あんずの夏休みについて》（児童・放デイ・訪問支援共通）

8月9日（金）～8月16日（金）まで、さぼねっとステーション（あんず&日向）は夏休みをいただきます。連絡、相談がある場合は、あんず携帯（080-8703-9655）までお気軽にどうぞ。8月その他の日は通常の支援となります。日向の相談支援事業も同様です。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。

#### 《学校との話し合い・幼稚園保育所の先生方の見学について》



7月下旬から8月いっぱい、あんずの放デイスタッフが、子ども達の学校の担任の先生と話し合いの時間を設けさせていただいています。この機会に、子ども達の育ちやこれまでの支援を共有し振り返り、今後について一緒に展望していく有意義な時間になりたいと思います。

また、この時期、幼稚園保育園の先生方が、見学に来ていただいています。あんずの支援を見ていただきながら、子どもの姿や対応を共有していく有意義な時間になっています。

先生方、お時間を作っていただきありがとうございます。





## 《ドクターNの医療相談》（児童・放デイ・訪問支援共通）

今年度2回目の『ドクターNの医療相談』を9月12日（木）14：00～に行います。  
医療相談は、埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生が行います。

“ドクターの話聞いてみたい” “診断ってどう考えればいいの？” “クスリのことを訊きたい”  
“病院受診の一步として”等、ちょっとした思いで構いません。

今回は定員を満たしていますが、ご希望ご関心のある方はお声をかけてください。

（ひと枠30分：4組）

【今後の予定：11/14（木） 1月末定】

## 《保護者座談会のお知らせ》（児童）

児童の支援時間に、放デイの保護者の方に来ていただいてお話をさせていただく座談会を9月中旬以降で行います。今の学校や家庭での生活の様子や、就学前の子育て、就園、就学、その他もろもろあれこれをお話していただきながら、皆さんでおしゃべりする時間にしたいと思います。詳細は別途お知らせします。

### ☆お 礼☆

7月は、絵本をたくさんいただきました。子ども達のメニューが広がります。ありがとうございます。

その他に、折り紙やティッシュ、おしりふきをいただきました。大切に使用させていただきます。



## 児童の支援あれこれ



ホールでの運動の時間、巧技台に合わせて身体をたくさん動かすことに慣れてきたところで7月は新しい活動「リズム」が始まりました。

去年までにやったことのあるお友達は、見本となり、かっこいい姿を披露してくれています。初めてのお友達は、まずはタイコやピアノの音に慣れるところから。慣れない活動にドキドキの子も多かったですが、どの子も、よく聞いているな～、よく見ているな～が伝わってきました♪ 今後も少しずつ「リズム」活動を取り入れていきます。

音楽に合わせて、楽しく身体を動かす経験を重ねていきましょう。

本格的な暑さがやってきましたね。さあこの夏をどう乗り切ろう？  
あんずも、しばしの夏休み。どんなふうにご過ごしたのか、

またお聞かせくださいね。



## 放デイのひと言



いつの間にか梅雨が明け、本格的な暑さがやってきましたね。

7月は、後半から短縮授業になったり、夏休みが始まったりと、生活の変化に慣れるのがむずかしい時期ですが、そんな中でも元気いっぱい過ごす子ども達の姿を見ることができました。

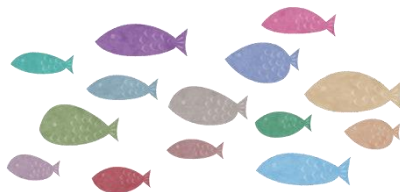
放デイでは、7月の4週目に防災訓練を行いました。

訓練の流れとしては、まず、災害に関するDVDを観ました。各部屋の子どもの興味関心に合わせて観るDVDを変えたのですが、映像の踊りに合わせてダンスをする子や、実際の地震や火災の映像を観て、「これ本当にあったの？」と質問をする子など、様々な見方があり、どの子にも共通して真剣さがありました。

次に避難の練習です。担当職員の「火事だ！」の声かけが避難の合図なのですが、いつ声がかかるか、子ども達は知りません。そんな状況でいつも通り過ごしている中、突然、「火事だ！」の声が響きました。みんな今していることを切り上げて、職員の誘導と共に避難場所へ素早く逃げていきました。もちろん、中には動けずにいる子もいましたが、職員と一緒に避難することができました。

高校生は、避難訓練後、消防士さんから防災に関する講話も聴きました。みんな真剣にメモをとっていました。

災害は、『いつ』『どこで』『何が』起こるかわかりません。だからこそ、こういった訓練を毎年繰り返して、万が一に備えておくことが、子ども達が安心・安全に過ごせる環境作りの大切な要素だなと実感した暑い日夏のひと時でした。



## 保育所等訪問支援ある日あるとき

「水分補給してね」の先生の声かけが、“ちょっと休憩”の優しい感じではなく、熱中症予防の切り札のように聞こえるのは…この酷暑のせいですよね。すぐに息を吹き返す子ども達が、うらやましいです。

先生の声かけで水筒に群がる子ども達の輪の中に、支援している子が混じっている光景を、いつも微笑ましく見ています。みんなの流れに乗って、一緒に水筒を傾げる息の合わせ方が、お友達と波長を合わせて過ごせているバロメーターのひとつだなと思っています。みんなが飲み終え、水筒のフタをしめて、みんなと同じカゴに入れて、席に戻ったり、遊びに向かったりする姿は、「ここにいてよかったね」と声をかけたくなる瞬間です。大人の手は借りているかもしれませんが、“一緒”の高揚感は、“できる”“できない”を超越した宝物だなと思います。

幼稚園の子は夏休み、保育所の子は、人数が少ない日もあって少し余裕をもって、学童保育の子は、長い一日をのんびりと。それぞれの夏の何気ない場面が、また子ども達を大きくしてくれるのでしょうか。8月もよろしくお祈りします。



あんず書店



## 『ねこぼん』

はやしますみ 作



猫の世界にもお盆があるそうで…。

「ねこのおぼんはみょうみょう」と、年に一度ご先祖様をこの世に向かえる準備に大忙しの猫たち。あやしげな猫の絵とリズムカルな関西弁に惹きつけられます。そして、夜が明けるまで、ご先祖様と一緒に踊る盆踊り。楽しい時間もあっという間で、「名残惜しいけど、また来年～」と、茄子の牛に乗ってあの世に帰っていく姿には、ちょっぴり切なくなります。

もうすぐお盆休みですね。読んでいると、親しい大切な人が  
思い浮かんでくる、不思議な「ねこぼん」です。(小林)



ハンディファンが流行っていますが、  
うちわもなかなかいいですよ。  
仰ぎ仰がれ、仲良くなります。